

## 5. 課題研究基礎

### 基礎力養成講座 SGH課題研究基礎力養成講座(学内留学)

#### <北野高校 学内留学 immersion lecture の目的>

課題研究基礎力養成講座（学内留学）は、2年次「課題研究」の基礎力養成講座であり、レクチャー、ディスカッション、リサーチ、プレゼンテーション等を通して、英語の4技能、思考力、情報収集力、分析力、まとめ・表現力を一体的に鍛えることを目的として実施している。

#### <内容>

当初7月7日（土）の予定であったが、西日本豪雨の影響で日程を延期し、10月6日（土）午前9時、今年を受講生1年生95名、2年生5名 計100名を迎え、六稜ホールで7年目を迎える「学内留学」の開講式が行なわれた。北野では immersion lecture と英語名をつけた。「immersion とは浸すこと」という意味だ。「浸すこと」から推測できるように、外国語に浸してしまうことでその外国語を習得させてしまう方法である。例えば理科や社会といったある教科をその外国語で学ぶことで、自然とその外国語を習得するという方法である。

英語イマージョン授業は、英語のネイティブスピーカーである教師が担当する。そして教科の学習の指導には英語だけを使用する。生徒が理解できない時には、必要に応じて簡単な英語表現への言い換え、ボディランゲージ、ジェスチャー、視覚教材など利用できるものは何でも利用する。そして生徒の理解を助ける。授業では教師は生徒とのコミュニケーションに重点を置き、教科内容を理解させることを目的に行われる。そのため文法的な誤りを正すことを控え、生徒が積極的に発言することを奨励する。英語イマージョン教育には生徒への愛情と我慢強さが不可欠であるが、今年度の学内留学でも、5講座の先生方は、生徒1人1人に、丁寧に、親切に、熱心に、コミュニケーションを重視して指導してくださった。

今年度の「学内留学」(immersion lecture) も年4回、土曜日を使って1日50分×5コマで実施した。先生方は、大学教養レベルの内容をレクチャーし、まず基本的な知識を生徒に与える。そこから生徒達は、英語を使って、互いに、問題点や解決策をリサーチしたり、意見を述べ合い、ディスカッションを重ね、論理的思考力、判断力、表現力を訓練した。最終回では、4回の講義を通して、学んだことを分析し、まとめ、発表を行った。生徒達は、シンプルな英語を通して学ぶことで、大学教養レベルの内容でも、ポイントをしっかり掴んでぐんぐん吸収していた。また、シンプルな英語が教室内に溢れることで、生徒は文法的な間違いを恐れずに、積極的に英語でコミュニケーションをとろうと努力していた。このような学びの姿勢を育むことは、今後の英語教育でますます重要になると思う。

2020年度に始まる大学入学共通テストの英語では、文法・語法の知識偏重ではなく、「読む、聞く、話す、書く」の4技能の運用力と、思考力・判断力・表現力を測ることに重点が置かれる。immersion seminarである「学内留学」はまさに、これらの力を養うことを狙いとしている。平常の英語授業で自らの英語運用能力を高め、自らの言葉として英語を用いる場面に臨み、自己発信力を磨く機会の提供を今後も続けたいと考える。

先進国の中でも、特に英語が話せないと言われる日本人にとって、immersion教育はやはり魅力的なものだと思う。今年度も、カナダ、ニュージーランド、合衆国出身の先生方と、北野高校英語科15名の教員は手を携えて、英語を使う環境に根気強く生徒たちを「浸して」いく努力を日常の中でも取り入れてきた。

### <実施日程および時程>

10月6日(土)、12月8日(土)、1月12日(土)、1月19日(土)

※11月16日(金)15:30~17:00は特別講義「EUがあなたの学校にやってくる」

開催趣旨：EU(欧州連合)加盟国の在日大使館および駐日EU代表部の大使や外交官から直接話を聞くことで、欧州連合(EU)や日・EU関係についての理解を深める。

1時限(9:30~10:20)、2時限(10:30~11:20)、3時限(12:20~13:10)、4時限(13:20~14:10)、5時限(14:20~15:10)

### <各講座内容>

ネイティブ講師による大学レベルの一般教養講座の授業をAll Englishで体験。教育学・ビジネス学・心理学・天文学・環境学の5分野に分かれ、ケーススタディを用いた講義・ディスカッションを交えて専門分野の知識を増やす。同時に英語でプレゼンテーションを行うテクニックも習得する。最終日(1月19日)にはケーススタディで学んだ理論に基づきグループプレゼンテーションを実施する。指導内容の詳細は以下の通り。

#### (1) A講座 Education Course (教育学講座)

General Themes: In the case studies, students will look at three areas related to education and try to apply them to their classes. Through lectures, group work, and a variety of activities students will learn about the following:

- ①VAK (Visual, Auditory, and Kinesthetic) Learning Styles
- ②Multiple Intelligences
- ③Cooperative Learning

Student Projects: Students will work on preparing and giving two main presentations. One will be a solo-presentation (done alone) and the other will be a group presentation.

1. Analyze and give a short presentation about one of your regular classes
2. Work in a group to make your own lesson, and then present it to the class

(教育学担当講師) Mr. Peter Vande Veire

(2) B 講座 Business Course (ビジネス学講座)

General Themes: Students will learn about some basic business principles and then use them in a variety of activities and case studies. Through lectures, discussion sessions, group work, and analysis activities students will learn about the following:① Monopolistic Competition ②Business Environment Analysis ③Marketing

Student Project: Students will give a number of mini-presentation and at least one major presentation. The major presentation will be done in groups, and each group will present their individual case study.

(経営学担当講師) Mr. Lance Domotor

(3) C 講座 Psychology Course (心理学講座)

General Themes: Students will receive an introduction to the field of psychology. They will gain a better understanding of how broad the subject. They will look at some specific and concrete examples of psychology at work. Through lectures, pair work, and interactive activities students will learn about the following:

①Psychology of Sales ②Behavioral Psychology

Student Project: Students will have mini-presentations and a major presentation based on course themes. They may have to do some research and / or observation based tasks.

(心理学担当講師) Mr. Craig Boobyer

(4) D 講座 Astronomy Course (天文学講座)

General Themes: Students will learn some of the fundamentals of planetary astronomy. By taking notes on lectures, participating in pair and group activities, and giving short presentations, students will learn about the following:①Missions to the planets and their moons ②The composition and characteristics of the planets and moons ③Solar system debris

Student Projects: Students will have mini-presentations and a major presentation based on course themes. They will have to do some research

(天文学担当講師) Mr. Josh Glaser

(5) E 講座 Environment Science Course (環境学講座)

General Themes: Students will become familiar with the fundamental terminology used in Environmental Science and develop the skills to analyze and develop an understanding of current environmental issues and their effect on the world. Through lectures, case-studies and group-based research activities, students will learn how to

address 3 specific environmental issues and be encouraged to find creative and scientifically based solutions to them. The three issues will focus on:

①The Water Cycle ②Extinction ③Alternative Forms of Energy

**Student Project:** Students will work together in teams on specific problems and present their ideas in a professional and scientific manner to the rest of the class. They will conduct Question & Answer sessions and develop the mind-set of scientists working in the field.

(環境学担当講師) Mr. Noel Slattery

## <成果>

受講生徒の感想 (抜粋)

1. 第1回 10月6日(土)

(1) B講座 Business Course(ビジネス講座)

1年2組 H.A

学内留学第1回、ビジネス学講座を all English で5時間にわたり受講した。

1時限は、自己紹介も兼ねて、自分の名前の意味や由来を発表した。2、3時限は、事前に意味を調べてきた英単語の確認をした。ペアでお互いに比べあったり、チームに分かれてクイズで競い合ったりと、いつもとは違った方法だったので、新鮮だった。また、ビジネスをする上で大切なことを、自分たちでも考えながら学んだ。4、5時限は、自分の好きな具体的な商品についてプレゼンテーションを行った。便利な表現やよく使われるフレーズを基に、文章を作成した。スピーチはキーワードのみを書いた紙を見て、即座に自分の言葉で説明をする。聞いてくれる人のほうを見て話すというのは、難しいけれど、とても大切なことだと思った。また、普段より多くのスピーチをすることができたのは、とても貴重な経験だと思っている。

ビジネスの専門的な言葉を英語で扱うので、すべてを完璧に理解するのはできなかったが、周りの人と話し合ったり、自分で状況を読んだりして、だいたいの意味を把握することができた。先生が、この授業内で辞書を引くのをおすすめしない理由を、こう語っていた。

「本当の留学であれば、辞書を引いている間に周りの皆は動いている。そのときの状況や反応を見て、それを感じ取って行動するべきなのだ。それがあなたたちの力をより良いものにするでしょう。」と。先生の話はおもしろくて、為になるものばかりだった。今日の講座で、英語での表現が私にとって身近になったので、これからの講座を通して、もっと成長したいと思う。

## (2) E 講座 Environment Science Course (環境学講座)

1年5組 Y.I

(1 時限) ノエル先生の自己紹介や名前についての説明があった。ノエル先生の名前の由来はクリスマスと天使に関わりがあることを知り驚いた。次にそれぞれ名前の由来と使われている漢字の意味について一人ずつ前で発表した。そして環境学とは何かについて班で話し合った。

(2 時限) 1 時間目の続きで、話し合った内容を全体に発表した。次に、1 日に水がどのようにして使われているかを話し合い、班毎に発表した。後半は水に関わる化学変化についての説明があり、化学式を考えたりした。

(3 時限) 水の循環についての講義があり、ビデオ等を通して水はどのように姿を変えて地球に存在している事がわかった。また、専門用語が沢山出てきて大変だったが、徐々に理解できたので良かった。

(4 時限) さらに専門的な内容の講義になり、とても手応えがあった。また、授業内容の演習問題も解き、より理解を深めることができた。そして、後半の方は次の時間のプレゼンテーションに向けて班毎に準備をした。

(5 時限) 4 時限の続きで、考えたプレゼンテーションをそれぞれのグループで発表した。ノエル先生に細かくアドバイスをもらい、プレゼンテーション力を向上させることができた。

今回は一番初めの授業だったのでどんなものなのか分からず不安だった。しかし実際受けてみると、とても楽しかった。環境学はとても幅広く、奥が深い分野ということも知り、興味が湧いた。また、オールイングリッシュの講義も慣れてしまえば、特に苦を感じる事もなかった。これからも楽しんでいきたいと思った。

## 2. 第2回 12月8日(土)

### (1) A 講座 Education Course (教育学講座)

1年8組 R.T

1 時限は、前回学んだ **learning style** の復習と宿題に出ていた **VAK** スタイルについてのスピーチをペアで行った。原稿を見ずに話せるように何度も練習した。2 時限は、知らないような難しい単語とその説明が書かれたプリントが配られ、グループで簡単な英語で説明する方法を考えた。その後、他の単語に当たった人達とグループを組み、それぞれ説明した後、1 枚の紙に **diagram** を作った。第3 時限は、**intelligence** についての講義を受けた。人間の知性は8 種類あり、人それぞれに合った知性の伸ばし方があることを学んだ。4 時限は、3 時限の授業を踏まえてグループで自分が先生になった時にどんな授業をするのかを具体的に考えた。5 時限は4 時限で考えた授業の内容を他のグループに発表し、どの種類の知性にどのような点で効果的であるのかを理由と共に詳しく説明した。

2時限で出てきた単語が知らない単語ばかりで、最初見たときは正直不安でしかなかったが、授業を受けていくにつれ、先生はわかりやすく丁寧に噛み砕いて教えてくださり、また、友人と質問しあうことで、より理解を深められたと感じている。普段、何気なく受けている授業でも知らず知らずのうちに VAK スタイルが組み込まれていることを知って、これからはそのことを意識して授業を受けたい。このように改めて考えさせられ得るものがあったので、大変有意義な時間を過ごせた。

## (2) C 講座 Psychology Course (心理学講座)

1年7組 K.R

1時限は、各自で調べてきたスーパーやコンビニの配置の工夫をペアで話し合い、その後、先生の見つけた工夫を紹介してもらった。考えを友達や先生と共有することで新たな発見が得られてよかった。2時限は、宿題で用意してきたプレゼンテーションをしたあと、**Conditioning** についての講義を受けた。第1回と同様にとっても興味深く、学びがいのある講義内容だった。3時限は、**Conditioning** がたくさんの広告に使用されていることを学んだあと、グループに分かれて例題を解いた。これにより、日常生活の中でたくさんの **Conditioning** に触れあっていることを知りこれからは意識的に見つけていこうと思った。4時限は、グループで実験をして、その結果と講義内容を照らし合わせた。実験は失敗に終わったが、グループの人たちと協力し合うことができ良かった。5時限は、最終日のプレゼンテーションに向けてプレゼンテーションの技術を学んだ。先生が実際にプレゼンテーションをしてくれてわかりやすく教えてくれた。このことは、普段の授業でのプレゼンテーションにも役に立つと思う。

授業を受ける前は心理学という難しそうな内容を英語で学ぶことに不安を感じていたが、日常生活のなかに心理学がたくさん用いられていることを知り、身近に感じられるようになった。先生の英語はとても聞き取りやすくユーモラスに話してくださるため、英語と楽しみながら触れ合うことができ、5時間の授業時間があっという間のように感じられた。学内留学という名のとおり、学校にいながらネイティブの先生から興味深い講義をしていただき、良い経験になった。以後の授業も英語を楽しみながら受けたいと思う。

## 3. 最終回 1月19日(土)

### (1) D 講座 Astronomy Course (天文学講座)

1年5組 N.N

初めて学内留学を知ったとき、私は迷わず参加を決めた。ネイティブの先生が完全に英語で講義を行うという学内留学に、強く惹かれたからだ。しかし最初は期待よりも不安が大きかったように思う。普段のリスニングでも苦労している私が、専門的な天文学の英語の講義を理解できるのか心配だった。

少しひやひやししながら、迎えた学内留学初日。そんな不安は一気になくなった。先生が難しい内容でも分かりやすく教えてくださったからだ。興味深い内容も多くあり、あっという間に時間が過ぎていった。

また、この学内留学は講義を受けるだけでなく、自分たちでプレゼンテーション発表をするという内容もある。プレゼンテーション作成の仕方や発表時の心構えなど多くのことを学ぶことができた。最終日には、グループごとに調べた惑星についてのプレゼンテーション発表があった。私のグループではクラスの発表に加え、ホールでも発表させていただいたのだが、本当に良い経験になった。大勢の前で、発表することは、クラスとは違う緊張感があり、終わると大きな達成感を感じた。

私はこの学内留学で多くのことを得ることができた。天文学についてだけでなく、プレゼンテーションのスキルなど今後も役立つ内容がたくさん盛り込まれていた。また、学内留学の講義を受ける度に、もっと英語を勉強しなければと刺激を受け、勉強のモチベーションも上がっていたように思う。これからもこの経験を日頃の生活に活かしていきたい。

## (2) B 講座 Business Course (ビジネス学講座)

1年6組 M.S

最初、5時間ずっと英語で話すというのを聞いて、本当にやっていけるのかとても不安だった。初めて聞く単語ばかりで意味もまったくわからず、聞き取ることもすら大変であった。しかし、同じクラスの人たちで教えあい、また、先生が単語の意味を私たちに丁寧に説明していただいたおかげで、だんだんわかるようになった。授業は日本のものとは違い、積極性が大事なものや、ディスカッションなどが多く、戸惑ったり、自分の意見が英語でうまく伝えられずもどかしかったりしたときもあったが、その分英語を話す機会が多く与えられたため、英語を話すことへの抵抗が減った。細かい文法などではなく、先生や友達と実際に英語で話すことにより、コミュニケーション力の向上へもつながったと思う。授業を重ねていくと、英語を英語のまま理解する、という感覚がわかってくるようになった。

ビジネス学についてもたくさんことを学んだ。3回のプレゼンテーションでは、パワーポイントをどのように作れば英語を聞き取りづらくても内容を理解できるか、ビジネスについての難しい内容をどんな英語で表現すればわかりやすいか、発表するときの身振り、目線、強調するところなど、「伝える」という部分に重点を置いて考えた。そして、最終日には私たちの班は多目的ホールで発表させていただくことになった。何度も原稿を見返して、他の講座の人たちにもわかってもらえるか、大勢の前で緊張して失敗しないかとても不安だったが、わかりやすく伝えることを意識して発表し、とても貴重な経験になった。このプレゼンテーション発表の要であった、「伝える」ということをこれからの生活へ活かしていきたいと思う。



開講式



教育学担当 ピーター先生



天文学担当 ジョッシュ先生



ビジネス学担当 ランス先生



環境学担当 ノエル先生



心理学担当 クレイグ先生

## 平成30年度 学内留学講座アンケート結果

			Education	Business	Psychology	Astronomy	Environmentology	TOTAL
①	以前より、英語でのコミュニケーションに抵抗がなくなった。	はい	10	15	27	17	7	76
		いいえ	0	1	2	1	3	7
②	以前より、人前で発表することに抵抗が少なくなった。	はい	9	14	21	17	9	70
		いいえ	1	2	8	1	1	13
③	以前より、英語によるコミュニケーション能力を高めたいと思うようになった。	はい	10	16	28	18	9	81
		いいえ	0	0	1	0	1	2
④	以前より、世界的な問題について関心を持つようになった。	はい	2	10	19	14	9	54
		いいえ	8	6	10	4	1	29
⑤	以前より、課題を発見し、分析する力がついた。	はい	8	11	26	11	7	63
		いいえ	2	5	3	7	3	20
⑥	以前より、自分の考えを他の人に聞いてもらおうと思うようになった。	はい	6	11	22	16	7	62
		いいえ	4	5	7	2	3	21
⑦	以前より、海外でいろいろなことにチャレンジしたいと思うようになった。	はい	7	13	25	16	6	67
		いいえ	3	3	4	2	4	16
⑧	以前より、海外の大学・大学院で学んでみたいと思うようになった。	はい	6	10	19	10	4	49
		いいえ	4	6	10	8	6	34
⑨	以前より、仕事で国際的に活躍したいと思うようになった。	はい	7	14	22	15	8	66
		いいえ	3	2	7	3	2	17
⑩	以前より、地球規模で社会に貢献したいと思うようになった。	はい	5	10	18	13	8	54
		いいえ	5	6	11	5	2	29